

進捗報告

1 私服を用いての実験

1.1 データの作成

前回紹介した fashion compability (コーディネート点数) は本当に使えるものかどうか、自分の服を用いてお試しとして実験をしてみた。トップス、ボトムス、シューズそれぞれ 2 種類ずつ用意した。それぞれアイテム部分だけ切り取り背景は白ぬりし、正方形 (2560 × 2560) の大きさに揃えている。

図 1 に用いた服の画像を示す。図のように tops1, tops2, bottoms1, ... とし、全ての組み合わせで点数を出した。



図 1: 用いた服の画像

また、アイテムのテキストデータは、先行研究で出現頻度の低い語を削るなどして整えられたワードの中から選び、それぞれのアイテムの説明文になるように作成した。表 1 に作成したテキストデータを示す。

表 1: 作成したテキストデータ

tops 1	rose printed black blouse
tops 2	uniqlo mint green shirt
bottoms 1	patterned black flared skirt
bottoms 2	uniqlo wide leg beige pants
shoes 1	brown lace-up pumps
shoes 2	adidas women's casual purple sneakers

1.2 実験結果

表 2 に実験結果を示す．点数が良いもの順に並べている．つまり上の方がファッショナブルとされるコーディネートである．

表 2: 実験結果

(tops, bottoms, shoes)	fashion compability
(1, 2, 1)	-4.78
(1, 1, 1)	-4.97
(2, 1, 1)	-5.63
(2, 2, 1)	-6.28
(1, 1, 2)	-9.07
(1, 2, 2)	-9.31
(2, 1, 2)	-9.38
(2, 2, 2)	-10.57

図 2 に一番点数が良かったものと悪かったもののコーディネートを示す．正直，自分が好んで買っている服なのでどちらもそこまで悪くない気がするが，確かに悪いとされている方はユニクロコーデなのでシンプルで素朴という感じはする．これは好みに大きく左右されるところなので，後々好みの指標なんかも入れられたら尚よろしという感じ．



図 2: イケてるコーデとダサイコーデとされるもの

これよりも気になるのが tops 1 と bottoms 1 の柄 × 柄の組み合わせが上位に来てしまっていることだ．これは相当ファッショナブルな人じゃないと着こなせそう．(黒ベルトとか合わせたらまあ、いけんこともない...? これは

雑誌:装苑レベル。) おそらく柄の考慮ができていない。テキストデータをいじる必要がありそう。しかし、実際着まわしを考えるとときにはもっと多くの服を扱うので、また結果は変わってきそう。

1.3 追加実験

表 2 から分かるようにスニーカーを用いると大きく点数が下がっている。確かにトップスとボトムスの雰囲気には茶色の靴の方がマッチしている。そこでスニーカーと合いそうな黒の T シャツ (tops 3 とする) も追加して実験してみた。図 3 と表 4 に top 3 の画像とそれを用いたコーディネート点数を示す。結果は変わらず茶色の靴の方が良くなった。テキストデータに adidas と入れているのでスポーツ系の要素を含んでいるのかもしれない。テキストデータをもうちょっと工夫する必要があるかもしれない。



図 3: tops 3

図 4: tops 3 を用いたときの点数

(tops, bottoms, shoes)	fashion compability
(3, 2, 1)	-6.26
(3, 1, 1)	-6.63
(3, 1, 2)	-9.98
(3, 2, 2)	-10.02